

PaKoMa DIY 教室

子供たちが夢中になる、おままことや怪獣遊び。小さなおもちゃを片づけるのはたいへんです。そんなちびっ子たちに、さあお片づけよの一声で、棚の中におもちゃを入れてびったり箱型に閉じれば、ハイ！お片づけ終了！の便利なお片づけラックです。制作の指導は、カーマ21豊橋南店 電動工具協力は、松下電器産業(株)の「マイジョイ」シリーズです。



「開いて遊んで、終わったら閉じて...
お片づけラック」を作ろう

電動工具で組み立てカンタン シリーズ



【電動工具】 充電パワーカッター
充電ドリルドライバー
充電インパクトドライバー

《工具協力》松下電器産業(株)



【木材・用具】 木材(パイン集成材)
蝶番・ビス(65mm×2コ) ドライバービット(下穴
あけ用・プラス) ホネジ(38mm) 鉛筆 プラスチックハンマー
カネジャク 手回しのプラスタライバー(蝶番をつけるときに使う)
メジャー クランプ 水性ペイント(ピンク、グリーン)・ハケ

ホームセンターで
こんな材料を
用意しましょう



子供の遊び用だけでなく、リビングの小物整理や
化粧品棚、コレクションの収納ケースなどにも
いる使えます。(作り方は次ページ)

電動工具で組み立てカンタン！

「お友達主婦3人が、初めての電動工具体験 お片づけラック作りにはトライ



アドバイザー
カーマ21豊橋南店
DIY担当・堀さん(左)、和田さん(右端)

パコマ読者スタッフ(愛知県豊橋市)
加藤 環さん(中央)と倉本あづささん(左)、
榊原晴美さん(右)

女性の手にも使いやすいコンパクトさに「もっと早く使えばよかった」と3人

今回、パコマDIY教室に参加した加藤さん・倉本さん・榊原さんの3人は、趣味を同じくする仲間です。日頃から共に行動することが多いので、最初から息はぴったり合っています。電動工具を使うのは初めてなので、「私たちでもほんとに作れますか?」と最初は不安そうでしたが、「大丈夫です。すぐに使えるように



最初にアドバイザーからミニチュアの模型で作業手順の説明を聞きます。

**電動ドライバーで、下穴あけとネジ締め作業
組み立てもラクラク! 蝶番を付ければできあがり**

木のカットが終わると、いよいよ組み立て開始。箱型のを2個作って、蝶番でつなぐだけのシンプルさです。最初に、組み立てる板のパーツの木ネジを締める位置に、ドリルドライバーで下穴をあけておきます。こうすると、ヒギナーにも木ネジが締めやすく、板が割れる心配も



初めて使うパワーカッター。最初はゆっくり動かして。

なりますよ!このアドバイザーの声に、「よし!頑張ろう!」と気合いを入れます。

さっそく作り方の手順を聞いて作業がスタート。最初は、木の直線カットをするためにパワーカッターを使います。この工具は、板の線の上に丸い刃を当ててまっすぐ前に進め

ありません。ドリルドライバーは穴をあけたリネジを締めたりする作業がラクにできる便利な工具。アドバイザーから使い方の説明を



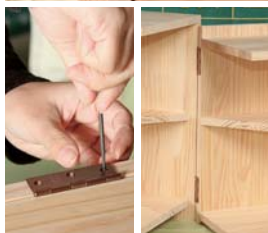
3人で順番に練習。

ドリルドライバーで下穴あけ。



「お片づけラック」の作り方

5 二つの箱型のものを、蝶番でつなぐ。



6 好きな色にペイントする。



側板と後ろ板を付ける。



天板を付ける。



底板を付ける。



中の三角棚を付ける。



4 同じ要領で箱型のものを2組作る。



1 木材に図面どおりに印をつけ、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)



2 カットした板のパーツの木ネジを締める位置に印をつけ、ドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあける。



3 下穴をあけた位置にインパクトドライバーのプラスビットで木ネジ(38mm)を締める。



インパクトドライバーで木ネジ締め。



蝶番を取り付けます。

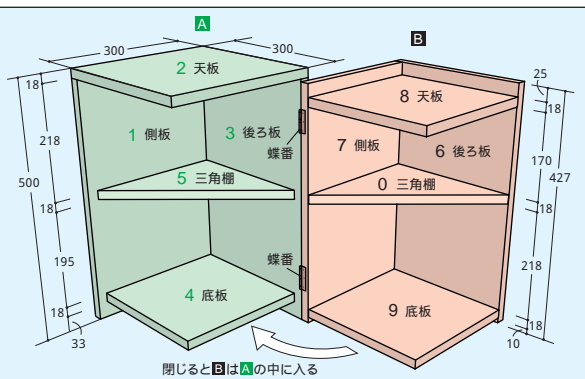
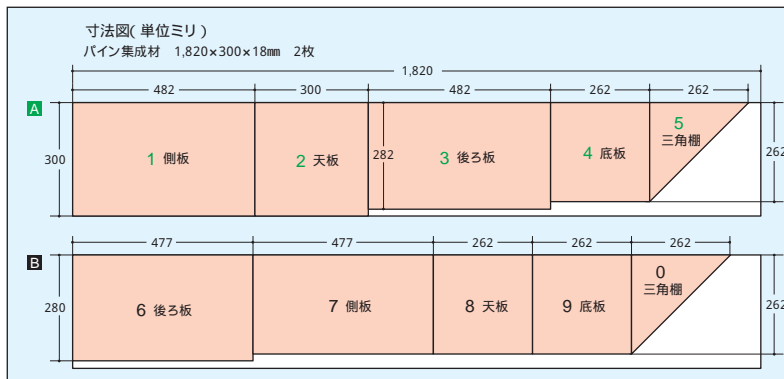


聞き、これも3人が順番に使ってみます。木ネジ締めには、ネジ締め機能と上から叩き込むハンマー機能が一つになったパワフルなインパクトドライバードライバーで、どちらのドライバードライバーもスイッチを入れるとネジ元を照らすライトが点灯する3モードモデル。これらのドライバードライバーも、初めて使った3人の感想は、「穴あけやネジ締めがラクで、扱いやすくコンパクトですね。こんなにラクに速くできるならもっと早く使えばよかった!」今まで「ノコギリや手回しのドライバードライバーでやっていたので、木工はしんどい男の仕事だと思っていたのに、すっかりイメージが変わりました」。そして、できあがった作品を眺めながら、

「やっぱり手作りのものは愛着があつていいですね。子供たちも、これで少しはお片づけ上手になりそう。もっといろいろ作ってみたくありません」と3人。それぞれの家庭でこれからどんな作品が作られるでしょう。楽しみですね。



あっという間に、ここまでできました。



閉じるとBはAの中に入る